

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、私たち日本人は何ができるでしょうか。真剣にスポーツの文化的価値の側面から考えなければなりません。

実際に世界中の人たちに日本が何を提示し、提供できるのか不安です。東京オリンピック・パラリンピックを開催する人たちの目的や使命は何なのでしょう。内外に向けた経済発展などの文明的な意義の発信は、すでに文明先進国の日本においては、かえって時代遅れのような気がします。新しいスポーツの価値観や日本独自の精神性などを、世界中が注目するスポーツの祭典において発信してほしいと切に願います。

日本国内に対してはメディアの影響が多だだと思います。今のメディアは文明の象徴なので、メダルの数だけを気にしています。もしくは、アスリートたちはいかにわれわれと違うのかという苦労話を訴えてきます。スポーツの非日常性への視点が強すぎるのだと思います。スポーツが私たちにどれほど役に立ち身近なものであるかを伝えていくメッセージがあまりに弱いように思います。

オリンピックも人生も上手くいくことよりも、上手くいかないことのほうが日常茶飯事です。それでも人生やスポーツは続きます。メダリストばかりがメディアで注目され、またエンターテインメントの担い手としてテレビ出演するのでもいいのかもしれませんが、しかし、メダルを取れなかった多くの選手たちの言葉が、私たちには強く響くはずですよ。